

# BIM 導入ワークブック

組織へのBIMの導入計画

プロジェクトへのBIMの導入計画

# 目次

## 組織へのBIMの導入計画 6

組織のビジョンとの整合	7
BIMの目的	8
現在のオーサリング ツール	9
作成予定のモデル	12
実行予定の解析タスク	14
現在のスキル	17
必要なスキル	19
既存のトレーニング プランおよび要件	21
サポート プラン	22

## プロジェクトへのBIMの導入計画 23

プロジェクトの概要	24
主要なコラボレーション チーム	25
プロジェクトの目的および目標	26

プロジェクトのフェーズ/工程	27
モデル マネージャー	28
作成予定のモデル	29
契約書	31
詳細解析計画	32
ファイル/モデル命名規則	35
デザイン レビュー	36
その他の施工管理ビジネス プロセス	37
現況モデル	38
BIM コーディネーション	39

## その他のリソース 41

### **本ドキュメントは、情報提供のみを目的としています。**

本ドキュメントに含まれるフレームワークおよびガイダンスは、お客様の専門家としての判断に変わるものではありません。これらは、広範囲にわたる用途がある中から、お客様のプロジェクトのニーズに最適なフレームワークの導入を支援することを目的として考案されています。本ドキュメントに記述されているフレームワークおよびガイダンスは、使用する可能性のあるすべての状況下でテストされたわけではなく、適宜更新されます。よってオートデスクは、その使用によって生じた結果に対し、いかなる方法でもその責任を負いません。本ドキュメントに記述されているフレームワークおよびガイダンスを導入する当人が、その利用の結果に対する責任を負います。この責任には、目的の結果を達成するための適切な変更および実装の判断、導入に関連したその他の検討項目の特定およびレビュー、必要に応じて適切な専門家の助言を求めることが含まれますが、これに限定されるわけではありません。

**無保証。** AUTODESK, INC. (以下「オートデスク」)は、いかなる目的に対しても本ドキュメントの内容の適合性に関して明示しません。本ドキュメントおよびドキュメントに含まれる情報は、オートデスクにより「現状有姿」で提供されるものとします。オートデスクは本ドキュメントに基づき、これらのマテリアルについて、商品性および特定目的適合性、権原、非侵害に関する黙示的保証を含む(ただしこれに限定されない)、一切の明示的または黙示的保証を行わないものとします。オートデスクは、本ドキュメントの使用、複製、表示に起因または関連する、特別な、間接的な、典型的な、結果的な損害、または使用、データ、利益の損失を含む(ただしこれに限定されない)損害について、契約、過失、その他の不法行為を含む(ただしこれに限定されない)訴訟の形式にかかわらず、一切の責任を負わないものとします。

**本ドキュメントに含まれるいかなる情報も、法的な助言として解釈されるものではありません。** 法的な助言が必要な場合は、第三者の弁護士にご相談ください。コンテンツの効力または本ドキュメントの使用によって、弁護士・顧客関係が形成されることは一切ありません。

© 2014 Autodesk, Inc. All rights reserved. このドキュメントのすべて、または本ドキュメントの一部は、オートデスクの許可がある場合を除き、いかなる形式、方法、目的でも複製することはできないものとします。この出版物には、該当する著作権所有者の許可を得て転載された内容も含まれています。Autodesk、Navisworks、Revitは、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。時折、オートデスクは、現在または新しい製品およびサービスの計画中または将来の開発取り組みを発表します。かかる発表は、製品、サービス、または機能の将来的な引渡しを約束または保証することを意図するものではなく、単に現時点でのオートデスクの計画を反映しているものであり、変更が生じる可能性があります。弊社は、かかる発表が行われた後の日に起こった出来事、もしくは存在または変化した状況を反映するために、かかる将来的な発表を更新する義務を負いません。

発行:

Autodesk, Inc.

111 McInnis Parkway

San Rafael, CA 94903, USA

BIM 導入ワークブックの目的は、アーキテクト、エンジニア、測量士、土木エンジニア、施工会社、施主が、ビルディング インフォメーション モデリング (BIM) プロセスおよびベスト プラクティスを導入するために参照するフレームワークを提供することです。

本ドキュメントは、「オートデスクBIM導入 スタートアップ ガイド」の付属ドキュメントです。  
このテンプレートを利用して、BIM プロセスの実装計画を立案してください。  
各セクションには、この編集可能なテンプレートを完成させるためのガイダンスと記入例があります。

本ドキュメントは、各関係者の役割および責任、共有する情報の詳細および範囲、関連するビジネス プロセス、サポート プロセスについて提案しています。

この導入ワークブックにより、プロジェクト チームの特定、プロジェクト全体での主要プロセスおよび依存関係の定義、役割および責任の割り当て、コラボレーティブなコミュニケーションによってプロジェクト コストの削減を促進するソフトウェア ソリューションの選択を行えます。

「BIM導入ワークブック」は、2つのセクションに分かれています。

## 組織向けBIM計画

組織レベルでBIM手法を実装する  
企業向け

## プロジェクト向けBIM計画

パイロット プロジェクトで  
BIMを実装するプロジェクト チーム向け

建物、インフラストラクチャ、建設プロジェクトの関係者は、フレームワークおよび提案を採用することで、以下のメリットが期待できます。

- すべてのプロジェクト チーム メンバー間で、コミュニケーションおよびコラボレーションが向上
- コスト、スケジュール、範囲の超過、または品質に関する懸念に関連した問題を軽減
- 迅速かつ経済的に、環境への影響を抑えてプロジェクトを確実に遂行する能力

## 組織へのBIMの導入計画

BIMの実装は、組織の業務に多大な影響があります。  
このセクションでは、目的、目標、組織全体のビジョンとの  
整合などを考慮し、組織におけるBIMビジョンを定義します。

## 組織のビジョンとの整合

以下のスペースに、組織全体のビジョン ステートメントをリストして、BIMの実装によりそのビジョンがどのように強化されるのか、または変化するのか、考えられることを記入してください。最初の行は例を示しています。

### 組織のビジョン ステートメント

例 | 課題に対処できるテクノロジーを使用して競合他社との差別化を図り、複雑な建設プロジェクトに対応する一流のゼネコン企業になる

### BIMで強化されるビジョン

例 | BIMを導入することでクライアントへのサービスを拡張し、他社と差別化できる

### BIMによって変化するビジョン

例 | BIMによって、受注できるプロジェクトが増加する

## BIMの目的

貴社がBIMを導入する目的およびそのための目標を以下に記入してください。  
 また、これらの目標の達成を測る方法と、目標期間も記入します。最初の行は例を示しています。

BIMの目的	測定可能な目標	達成基準	達成予定
例   新しい施設すべての運用管理を向上させる	例   すべての新規建設において、機械システムの情報を示す現況モデルを取得する	例   各プロジェクトまたはWOの後に、プロジェクトチームがモデルを収集または更新する	例   2015年4月



## 現在のオーサリング ツール

下の表に、貴社が一般的なプロジェクトで使用するオーサリング ツールの概要を説明してください。特に関連の深い業界分野にチェックマークを付けて、プロジェクトのそれぞれのフェーズで現在使用しているオーサリング ツールを記入します。貴社が参入していない業界については、空欄のままにします。最初の行は例を示しています。

関連する業界	プロジェクト フェーズ	オーサリング ツール
例   建築	例   1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設	例   1 - Revit、AutoCAD 2 - Revit 3 - Revit、AutoCAD 4 - その他(名前を記入) 5 - 該当なし
<input type="checkbox"/> 建築	1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設	
<input type="checkbox"/> 土木/インフラ	1 - プランニングとコンセプト レイアウト 2 - 測量とデータ収集 3 - 予備エンジニアリング 4 - 最終設計 5 - プロジェクト ドキュメントの作成 6 - 入札 7 - 施工管理/建設	

# 組織へのBIMの導入計画

関連する業界	プロジェクト フェーズ	オーサリング ツール
<input type="checkbox"/> 施工(建設)	1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設 6 - 見積もり 7 - プランニング 8 - コーディネーション 9 - 詳細設計 10 - レイアウト 11 - リフト	
<input type="checkbox"/> 機械	1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設	
<input type="checkbox"/> 電気	1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設	

関連する業界	プロジェクト フェーズ	オーサリング ツール
<input type="checkbox"/> 配管	1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設	
<input type="checkbox"/> 構造	1 - 概略設計 2 - 設計開発 3 - 施工図 4 - 入札 5 - 施工管理/建設	
<input type="checkbox"/> その他(記入してください)	その他(記入してください)	

## 作成予定のモデル

下の表に、貴社が一般的なプロジェクトで作成するモデルの概要を説明してください。

モデル名、モデル コンテンツ、モデルが通常作成されるプロジェクト フェーズ、現在使用中のモデル作成ツールを記入します。作成しないモデルについては、空白のままにします。必要性が見込まれるモデル タイプがリストされていない場合は、行を追加して記入します。最初の行は例を示しています。

モデル名	モデル コンテンツ	プロジェクト フェーズ	オーサリング ツール
例   コーディネーション モデル	例   メインの建物と駐車場の構造の建築、 構造、設備 (MEP) コンポーネント	例   設計開発と施工図	例   Autodesk Revit
土木モデル			<input type="checkbox"/> Civil 3D <input type="checkbox"/> InfraWorks <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
建築モデル			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
構造モデル			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
機械			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____

# 組織へのBIMの導入計画

モデル名	モデル コンテンツ	プロジェクト フェーズ	オーサリング ツール
電気			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
配管			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
施工モデル			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
コーディネーション モデル			<input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate <input type="checkbox"/> BIM 360 Glue <input type="checkbox"/> BIM 360 Field <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
現況モデル			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
概略設計モデル			<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
その他			

## 実行予定の解析タスク

採用を検討している解析ツールのタイプを記入してください。チェックボックスを選択して、必要なツールの名前を記入してください(分かる場合)。貴社で行わない解析タスクについては、空欄のままにします。

解析	説明	推奨ツール
ビジュアライゼーション	ビジュアライゼーション ツールによって、プロジェクトチームはプロジェクトの設計や建設を3Dで見ることができ、最終製品についてより正確な考察が可能になります。これらのツールは、提案を提示する際に非常に便利で、より多くのビジネスを獲得するのに役立ちます。	<input type="checkbox"/> Autodesk 360 Rendering <input type="checkbox"/> 3ds Max Design <input type="checkbox"/> InfraWorks <input type="checkbox"/> Navisworks <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____
構造	構造解析ツールは、モデルを使用して建物の構造プロパティを解析します。通常、構造解析プログラムは有限要素法(FEM)を使用して、設計のすべての構造要素にかかる応力を計測します。構造解析がスムーズに機能するためには、元の構造モデリング ツールが構造解析ツールと互換性があり、元の構造モデルのプロパティ データに構造要素に関する情報が含まれている必要があります。	<input type="checkbox"/> Structural Analysis for Revit <input type="checkbox"/> Robot Structural Analysis <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____
干渉チェック	干渉チェック解析は、1つまたは多くのモデル間での干渉を確認するために行われます。施工中の設計変更を削減するためには、干渉チェックは早期に実行し、設計プロセスを通して継続する必要があります。干渉チェックが正常に動作するためには、プロジェクトのモデルに干渉チェック ツールと共通の参照点があり、互換性がある必要があります。	<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> Navisworks Manage <input type="checkbox"/> BIM 360 Glue <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____

解析	説明	推奨ツール
数量積算	<p>数量積算解析の目的は、モデリング プロパティ データを数量プロセスの自動化または簡素化に使用することです。数量積算ツールからの情報は、コスト積算ソフトウェアに読み込まれるか、関連付けられます。数量プロセスがスムーズに動作するためには、元のモデリング作成者が設計に適切なプロパティ情報を含める必要があります。</p>	<p><input type="checkbox"/> Autodesk Revit  <input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate  <input type="checkbox"/> その他: _____            _____            _____</p>
スケジュール/4D	<p>スケジュール解析を使用すれば、プロジェクト チームはプロジェクト モデルを使用して、タイムラインや施工のシーケンスを解析できます。その後この情報は、施工スケジュールの修正や調整に使用できます。プロジェクト チームメンバーが段階を追って施工を視覚化できるツールは存在します。しかし、そうしたスケジュール ツールはビジュアルと自動的に相互作用しません。</p>	<p><input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate  <input type="checkbox"/> その他: _____            _____            _____</p>
コスト解析/5D	<p>5Dモデルを作成すると、さまざまな関係者(アーキテクト、デザイナー、施工会社、施主)がどの建設プロジェクトでも建設作業の進行や、長期にわたる関連コストを視覚化できます。BIMを中心としたプロジェクト管理テクニックには、規模や複雑度を問わず、プロジェクト管理や建設プロジェクトのデリバリーを大幅に改善できる可能性があります。</p>	<p><input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate  <input type="checkbox"/> その他: _____            _____            _____</p>
エネルギー/ LEED	<p>グリーンビルディング認定システムのLEED (Leadership in Energy and Environmental Design) による認定およびエネルギー解析ツールを使用すれば、プロジェクト チームは、設計に関するサステナビリティおよびエネルギー消費についての意志決定による影響を評価できます。この解析モデルは、通常はメインの建築モデルに基づいて行われ、材料および建物のシステムの入力をプロジェクトのサステナビリティやエネルギー消費の評価に使用します。</p>	<p><input type="checkbox"/> Energy Analysis for Revit  <input type="checkbox"/> Green Building Studio  <input type="checkbox"/> その他: _____            _____            _____</p>

# 組織へのBIMの導入計画

解析	説明	推奨ツール
地理空間	<p>地理空間解析ツールを使用すれば、プロジェクト チームはプロジェクトのライフサイクルを通して GIS データを活用できます。たとえば、痩せた土地や湿地帯を回避するなど、環境への懸念事項を含めることができます。また、ゾーンのオーバーレイや土地利用情報も含めることができます。また、プロジェクトの完了時には関連するプロジェクト情報を書き出し、都市や自治体と共有することができます。</p>	<input type="checkbox"/> AutoCAD Map 3D <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____
雨水	<p>雨水解析ツールを使用すれば、プロジェクト チームは複雑な水文学、水力学、水質をモデル化できます。これには、より優れた洪水制御および水質保護のための、排水システムのコンポーネントおよび貯留設備のデザインやサイズ変更が含まれます。</p>	<input type="checkbox"/> Autodesk Storm and Sanitary Analysis <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____
汚水管きよ	<p>排水管解析ツールを使用すれば、プロジェクト チームは単純なものから複雑なものまで、汚水および合流式下水設備の解析を行えます。通常は、マスター プランニング、再建、新規設計、下水道モデルの将来的な増加への対応に使用されます。</p>	<input type="checkbox"/> Autodesk Storm and Sanitary Analysis <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____
車両スイープパス	<p>車両スイープパス解析ツールを使用すれば、アーキテクト、エンジニア、プランナーは、交通プロジェクトまたは用地設計プロジェクトでの車両の動きについての予測を評価できます。最低基準が保持され、視線および潜在的な安全性への懸念なども考慮されていることを確認するためには、重要な解析です。</p>	<input type="checkbox"/> Autodesk Vehicle Tracking <input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____
その他		
その他		



## 現在のスキル

社員の職種、それぞれの職種の社員数、スキルの平均レベルをリストし、以下のスペースに貴社の現在のスキルを記入します(スキルの観点から、貴社の現在のレベルを測りましょう)。最初の行は例を示しています。

スキル	職種/人数/スキルの平均レベル
例   2D CAD 設計	例   一般業務のアシスタント/5/なし アソシエイト アーキテクト/37/エキスパート プロジェクト マネージャー/8/新人 エグゼクティブ/3/なし
<input type="checkbox"/> 2D CAD 設計	
<input type="checkbox"/> 3D BIM 設計	
<input type="checkbox"/> ビジュアライゼーション	

スキル	職種/人数/スキルの平均レベル
<input type="checkbox"/> シミュレーション	
<input type="checkbox"/> 解析	
<input type="checkbox"/> その他: _____ _____ _____ _____	

## 必要なスキル

以下のスペースに、社員の職種、社員数、望ましいスキルの平均レベル、望ましいスキルレベルに到達している社員数を記入してください(スキルの観点では、貴社の向上目標はどれくらいでしょう)。最初の行は例を示しています。

スキル	職種/人数/望ましいスキルレベル/望ましいスキルレベルに達している人数
例   2D CAD 設計	例   一般業務のアシスタント/5/新人/0 アソシエイト アーキテクト/37/エキスパート/10 プロジェクト マネージャー/8/経験者/2 エグゼクティブ/3/新人/0
<input type="checkbox"/> 2D CAD 設計	
<input type="checkbox"/> 3D BIM 設計	

スキル	職種/人数/望ましいスキル レベル/望ましいスキル レベルに達している人数
<input type="checkbox"/> ビジュアルイゼーション	
<input type="checkbox"/> シミュレーション	
<input type="checkbox"/> 解析	
<input type="checkbox"/> その他： _____ _____ _____ _____	

### 既存のトレーニング プランおよび要件

社員向けのトレーニング プロセスはありますか? (たとえば、インストラクタによるレッスン、社内トレーニング、会議やウェブキャストへの参加など)。現在トレーニングを行っている場合は、社員が受けるトレーニングの種類と標準的なトレーニングの形式を記入してください。また、必要と思われるトレーニングの分野も記入します。



## サポート プラン

現在受けているサポートはどのようなものですか? 現在使用中のソフトウェアで受けているサポートと、サポートの詳細を知りたいソフトウェアを記入してください。サポート サービスについての詳細な情報は、以下のリンクを参照してください。

<http://www.autodesk.co.jp/subscription/maintenance>

システム	サポートのタイプ	連絡先	サポート受付時間
例   Autodesk Revit	例   アドバンス	例   1-800-555-5555	例   9:00~17:00 (日本語)、 それ以外は英語の24時間対応

# プロジェクトへのBIMの導入計画

BIMの導入計画のこのセクションでは、プロジェクトのためのプランニングフレームワークを構築して、作業をより効率的に遂行するためのさまざまな種類のテクノロジーに関する情報を提供します。

- プロジェクト チームが、設計、建設、運用など、プロジェクトの各段階で情報豊富なデジタル モデルを作成、適用、再利用するためのソリューション。
- 建物の施工性および潜在的なパフォーマンスを、着工前により深く把握するための解析ツール。この解析により、プロジェクト チームは、ジオメトリ レイアウト、建材、エネルギー、サステナビリティに関してより多くの情報に基づいて判断できます。さらに、配管や梁といった要素間の干渉をより効果的に検出でき、追加のコストを未然に回避できます。
- すべてのチーム メンバーがプロジェクト情報を体系的に共有できるようにしながら、ビジネス プロセスを強化するコラボレーティブなコミュニケーション プラットフォーム。

これらのソリューションを使用すれば、開発のすべてのフェーズを通してBIMデータを安全に保存できます。プロジェクトの開始時、着工前に、チームが協力して問題を解決することができます。プロジェクトの完了時には、チームはプロジェクトの施主にかさばる書類を丸めたり、箱に整理して渡すのではなく、プロジェクトを管理、運用するのに必要なすべての情報を提供する包括的なデジタル モデルを渡すことができます。

## プロジェクトへのBIMの導入計画

プロジェクト チームは、BIM 導入計画をコラボレーティブな作業テンプレートとして使用して、プロジェクトの標準を定め、プロジェクトの初期に調整することができます。またBIM 導入計画を使用すれば、チームはそれぞれのチーム メンバーの役割と責任、作成および共有する情報の種類、使用するソフトウェア システムの種類、それらの使用方法を定義できます。プロジェクト チームは、スムーズなコミュニケーション、より効果的な計画が可能になり、コストや品質、範囲、スケジュールに関する懸念を、建設のすべてのフェーズにわたって削減できます。

### プロジェクトの概要

プロジェクトに関する重要な情報を以下に記入してください。プロジェクト名、施主が付けたプロジェクト番号、住所、プロジェクトの説明、プロジェクトのモデル化する領域およびしない領域を含めます。

プロジェクト名	
施主によるプロジェクト番号	
プロジェクトの住所	
プロジェクトの説明	
モデル化する領域	



## 主要なコラボレーション チーム

プロジェクトの主要なコラボレーション チーム メンバーを以下にリストしてください。

担当者名	職務/役職	会社	電子メール	電話番号

## プロジェクトの目的および目標

このプロジェクトにBIMを使用する目的をリストしてください。また、各目標の達成を測る方法と、目標期間も記入します。最初の行は例を示しています。

プロジェクトの目的	目標	達成基準	達成予定
例   構造用鋼の調達を簡易化	例   ファブリケーションを早期に開始できるように、モデリングプロセスに鉄鋼サプライヤを含める	例   鉄鋼が適切なタイミングに準備され、現場に配達される	例   2015年4月

## プロジェクトのフェーズ/工程

下の表に、プロジェクトのフェーズ、開始予定日、関与する関係者の概要を説明してください。  
最初の行は例を示しています。

プロジェクトのフェーズ/工程	開始予定日	完了予定日	関与する関係者
例   コンセプト設計	例   2/1/2015	例   4/1/2015	例   施主、アーキテクト/エンジニア、サブコンサルタント、建築マネージャー

## モデル マネージャー

作成する各モデル タイプについて、プロジェクトのモデル マネージャーを下の表にリストしてください。  
これは、レビュー ミーティングの計画に役立ちます。

関係者の会社名	モデル マネージャー名	電子メール	電話番号

## 作成予定のモデル

下の表に、プロジェクト用に作成するモデルの概要を説明してください。モデル名、モデル コンテンツ、モデルを作成するプロジェクト フェーズ、モデル制作会社、使用するモデル作成ツールをリストします。プロジェクトで使用または作成しないモデルについては、空白のままにします。必要性を見込んでいるモデル タイプがリストない場合は、行を追加して記入します。最初の行は例を示しています。

モデル名	モデル コンテンツ	プロジェクト フェーズ	制作会社	オーサリング ツール
例   コーディネーション モデル	例   メインの建物と駐車場の 構造の建築、構造、設備 (MEP)コンポーネント	例   設計開発と施工図	例   ABC Designers	例   Autodesk Revit
土木モデル				
建築モデル				

# プロジェクトへのBIMの導入計画

モデル名	モデルコンテンツ	プロジェクト フェーズ	制作会社	オーサリング ツール
構造モデル				
MEP (機械/電気/配管)モデル				
施工モデル				
コーディネーションモデル				
現況モデル				

## 契約書

契約によって定められていると考えられるモデルを、下の表にリストしてください

プロジェクトの契約の一部とみなされるモデル

## 詳細解析計画

プロジェクトで実施されるそれぞれの種類の解析で、解析に使用するモデル、解析を行う会社、必要なファイル形式、予定されるプロジェクト フェーズ、解析に使用するツールをリストしてください。解析に関連するその他の指示がある場合は、特記事項の列に印を付けて、次のセクションの特記事項の表に詳細を記入します。

解析	解析ツール	モデル	解析を担当する 企業	プロジェクト フェーズ	必要なファイル 形式	特記事項
ビジュアライゼーション						
構造						
干渉チェック						



# プロジェクトへのBIMの導入計画

解析	解析ツール	モデル	解析を担当する企業	プロジェクトフェーズ	必要なファイル形式	特記事項
数量積算						
スケジュール/4D						
コスト解析/5D						
エネルギー/LEED						
外光/照明						

# プロジェクトへのBIMの導入計画

解析	解析ツール	モデル	解析を担当する企業	プロジェクトフェーズ	必要なファイル形式	特記事項
地理空間						
雨水						
排水管きよ						
車両スイープパス						

## ファイル/モデル命名規則

特別な命名要件を持つファイルがある場合は、下の表にリストしてください。現在、既存の命名規則を文書化している場合は、下の表をにそれらを記入します。最初の行は例を示しています。

ファイル形式	命名規則
例   経過写真	例   場所 - 制作会社のイニシャル - 説明 (例、Parking-ABC-Crack)

## デザイン レビュー

プロジェクト レビューのプロセスはどのようになっていますか? 下の表に、モデルが必要なレビュー、レビューア(社内または社外)、デザイン レビューの開始予定日および完了予定日、制作会社がデザイン レビュー コメントに対応するのに必要な日数をリストしてください。最初の行は例を示しています。

モデル	レビュー会社	レビュー開始 予定日	レビュー完了 予定日	制作会社の必要日数
例   概略設計モデル	例   ABC Owners   Acme Contractors	例   1/21/2015	例   2/11/2015	例   14日間

## その他の施工管理ビジネス プロセス

プロジェクトチームが使用を計画しているモジュールを、特定の指示やプロセスも含めて下の表にリストしてください。

追加のビジネス プロセスで使用される モジュール	説明	推奨ツール
例   建設現場利用計画 (CSUP: Construction site utilization planning)	例   BIM モデルを使用して、施工プロセスの複数の フェーズで、現場の常設および仮設の施設を評価する	例   <input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate <input type="checkbox"/> BIM 360 Glue <input type="checkbox"/> BIM 360 Field
プロジェクト レビュー、スケジュール、 ビジュアライゼーション		<input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
プロジェクトの数量拾い		<input type="checkbox"/> Autodesk Revit <input type="checkbox"/> Navisworks Manage、Simulate <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
現場管理		<input type="checkbox"/> BIM 360 Field <input type="checkbox"/> その他: _____ _____
建築レイアウト		<input type="checkbox"/> AutoCAD Civil 3D <input type="checkbox"/> Point Layout <input type="checkbox"/> その他: _____ _____

## 現況モデル

現況モデルのコンテンツに含むまたは除外するものを、下の表にリストしてください。

現況モデルに含めるコンテンツ	現況モデルから除外するコンテンツ
([詳細解析計画]で指定した詳細レベルの他に、モデルに含めるべき特定のアイテムをリストします)	([詳細解析計画]で指定した詳細レベルの他に、モデルから除外すべき特定のアイテムをリストします)

## BIMコーディネーション

使用するコンポーネントおよび特定のソフトウェアを選択して、以下にリストしてください(参照用に便利です)。

	ソフトウェア コンポーネント	モデル	ソフトウェア システム	バージョン
✓	モデルの制作	意匠設計		
✓	モデルの制作	土木設計		
✓	モデルの制作	構造設計		
✓	モデルの制作	MEP設計		
✓	モデルの制作	コーディネーション		
✓	モデルの制作	施工(建設)		
✓	モデルの制作	現況		
✓	モデルの統合			
✓	モデルのメディエーション			
✓	モデルのビジュアライゼーション			
✓	モデルのシーケンシング			

# プロジェクトへのBIMの導入計画

	ソフトウェア コンポーネント	モデル	ソフトウェア システム	バージョン
✓	モデルの数量積算			
✓	コラボレーションを促進する メッセージングおよびコミュニケーション			
✓	ドキュメント管理			
✓	設計管理			
✓	入札管理			
✓	施工管理			
✓	コスト管理			
✓	設備/運用管理	現況		



Autodesk AEC Feedは、建築、エンジニアリング、建設(AEC)業界の最新ニュースや動向をiPadにお届けしています。  
下のQRコードをスキャンしてください。



Autodesk BIMソリューションについての詳細は、BIMセンターをご覧ください。

<http://www.autodesk.com/bim>

Beyond Design ブログ

<http://beyonddesign.typepad.com/>



Autodesk、AutoCAD、Autodesk ロゴ、BIM 360、Glue、Green Building Studio、Navisworks、Revit、Robot、Civil 3D、InfraWorks 360、3ds Maxは、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。該当製品およびサービスの提供、機能および価格は、予告なく変更される可能性がありますので予めご了承ください。また、本書には誤植または図表の誤りを含む可能性があります、これに対して当社では責任を負いませんので予めご了承ください。  
© 2014 Autodesk, Inc. All rights reserved.